Marianna Angels

2017. March
マリアンナエンジェルズ通信 Vol.15
発行 聖マリアンナ医科大学ナースサポートセンター
〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1
TEL 044-977-8111（代）
http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/
年 1 回発行

看護部長からのメッセージ

M.A通信 編集部 Special Report!

魅力あふれる4つの附属病院 あなたの目指す看護を見つけてください！

大学病院

やりたいことがきっと見つかる！ 様々な看護の領域で力を発揮しませんか？

看護部長　本舘 教子

看護師をめざす皆さん、こんにちは。大学病院看護部長の本舘教子です。

当院は、神奈川県川崎市の北部に位置する大学病院で、先進医療・高度急性期医療と特定機能病院としての役割を担っています。診療科は31科、病棟は26病棟あり、様々な領域で看護が展開されています。私たちが大切にしている看護は、「患者さんの生きる営みを支える看護」です。つまり急性期から慢性期、終末期に至るまで、患者さんやご家族がどうありたいかを支え、意思決定を見守る「セルフケア看護」を大切にしています。

社会情勢や医療状況など変化が激しい現代では、人々の価値観も多様化し複雑化しています。このような時代に多職種と連携しながら質の良い医療を展開していくためには、臨床実践能力をしっかり身に付け、変化に対応できる柔軟な思考力と実践力が求められると思います。当院では「自律した人材育成」をめざし、社会人基礎力を育みながら、ラダー別教育と経験別教育の双方から教育プログラムを構成し、誰もが教育を受けられる機会を整えています。また入職後一年目では、看護技術や理論・メンタルヘルス・多重課題への対応などの「集合教育」と、現場で患者さんを受け持ちながら臨床実践能力を身に付けていく「現場学」の2本の柱で、サポートしていきます。看護師は“いのちの現場”で働く仕事ですから学びの日々ですが、プリセプターと呼ばれる先輩が、公私ともども皆さんを応援しています。

“やりたいことがきっと見つかる!”　皆さんも私たちと学びの笑顔を咲かせませんか?

西部病院

「なりたい自分」に向かって ステップアップ！

看護部長　伴 真理子

西部病院は、横浜市の地域中核病院として今年で開院から 30 年目を迎えます。横浜市内には 11 の地域中核病院があり、名前のとおり当院は西部地域の救急医療の要として、急性期の医療を担うことが大きな役割といえます。診療科は25科あり、3次救急医療の救命救急センター、地域周産期母子医療センターは基幹病院としての機能を有しています。この30年の中で地域を取り巻く環境は変化してきており、これまで以上に地域との「繋がり」を大切にしながら、当院も変化し、進歩することが求められています。

そのためには看護師一人ひとりが職員としての自覚を持ち、看護職として成長していくことが必要です。看護部には、個々の成長をサポートするための教育プログラムがあり、「なりたい自分」に向かって、計画的にステップアップすることを応援しています。また、個々の成長を促すには、周囲との円滑なコミュニケーションが重要です。多職種ともお互いの専門性を尊重しつつ、患者さんにとって必要とされる医療が実践できるよう、顔の見える関係性を大切にしています。

西部病院の敷地内には、四季折々の花が咲き、入院生活に癒しを与えています。病院の理念である「生命の尊厳を重んじ、常に病める人の声に耳を傾け癒すこと」を常に念頭に置き、五感を使って声にならないメッセージまでも、キャッチできるような看護集団でありたいと思っています。是非、私たちと一緒にやりがいをもって看護をしましょう!!

東横病院

開院70年の歴史と、 活力あふれる新しい街

看護部長　倉岡 圭子

住みたい町ランキング No. 3（関東 5 都県）にランクされる「武蔵小杉」にある東横病院を紹介いたします。この地域は高層マンションが建ち並び、ここ数年人口は毎年 3000 人を超える勢いで増え、若い世代が暮らす街です。昼はショピングする婦人が多く、ネオンがチラつくと仕事帰りのサラリーマンへと模様替えします。病院は商店街の一画にあるにも拘らず、院内は静かで窓から高層マンションの風景を見ながらの療養生活を患者さんは送っています。

当院の歴史は古く、聖マリアンナ医科大学の発祥の地でもあります。そして開院から 70 年目を迎えて街の変化と共に病院も進化させ、総合病院から特化した診療提供の病院として平成 20 年にリニューアルして現在に至っています。診療領域は脳・心臓・消化器疾患を核にし、低侵襲性の治療提供をしています。脳と心臓に関してはカテーテルを使用した血管内治療、消化器は鏡視下による内科的・外科的な治療を展開し、患者さんの平均在院日数は約10日です。そして看護体制として、脳、心臓治療は緊急性が高いため病棟看護師が治療介助の技術を習得して 24 時間体制で対応します。したがって病棟看護にプラスして専門的技術を身につけることができます。このことは、治療状況を踏まえて看護ケアにつなげられます。急性期看護として、患者さんが適切な治療に臨むことができ、その後の QOL、その人らしい生活を送れることを看護の核として日々医療チームメンバーと協働しながら、この地域の人々のニーズ応えられるよう取り組んでいます。

多摩病院

みんなで看護の 未来を考えたい！

看護部長　佐藤 美子

当院は、聖マリアンナ医科大学の仲間たちが働く川崎市の市立病院です。「マリアンナ魂」を持ち、市民のための病院として厚い信頼を得ています。また、地域の医師や訪問看護ステーションの看護師、介護施設などが当施設を利用しやすいよう地域支援病院という看板も掲げています。そして、多摩地区の医療・看護・介護・行政などが手をつないで、地域の医療を考え、学ぶ会「チームたま」が、連携の架け橋になっています。地域包括ケアシステムが叫ばれる現在、これからの看護に期待がかかっています。「ほとんど在宅、たまに入院」と言われています。

看護師をめざす皆さん、多摩病院で地域と密着した看護を一緒に実践して行きましょう。

当院の自慢は、病院の特徴を活かした看護の退院調整力を育てているということです。そこには、日ごろの MSW と看護相談室の退院調整ナースの息の合った活動があります。また、経験が浅い看護師でも退院調整力を養うため、退院調整リンクナースの制度を作りました。訪問看護ステーションなどへの院外研修も行っています。退院調整の仕組みを知る、実際に行ってみる、そして自分の経験を退院調整に活かす。そんな研修を用意しています。そんな多摩病院で、これからの看護、未来の看護を一緒に考えてみませんか?

私の病院自慢　4病院紹介

大学病院

救命救急センターの使命

3 次外来の初期治療を受けて命を救い、ICU では様々な医療機器を管理しながら患者さんの命を守ります。そしてHCU内でさらに回復した後に一般病棟に命を繋ぎます。看護師80名が夜間急患センターを含めた 4 つの部署で患者さんの命を守っていくのです。さらに院内急変の対応 RRS（Rapid Response System）に加え、移植コーディネーター、DMATなど院内外の枠を超えて活躍しています。

救命救急センター　看護師長　北原 日美紀

西部

他職種シンポジウムを終えて

毎年開催している看護研究発表会で、今年初めて薬剤部、リハビリテーション部を交えて安全をテーマにしたシンポジウムを 1 月31日に開催しました。初めは緊張した趣でしたが、徐々に笑顔のディスカッションとなり、「他職種からみた看護を知る機会となった」という内省につながる意見など、アットホームな西部病院の良さを再確認することができました。これを機会に、さらなるチーム医療の提供に磨きがかかっていけばと思います。

教育委員会　看護師長　山口 義美

東横

東横病院のお雛さま

3 月 3 日はひな祭り―東横病院には古いひな人形があります。いつの頃から存在しているかは誰も知りませんが、代々引き継がれて節分が過ぎると外来の一画に飾られます。「男雛」と「女雛」の一対で、春を感じるお姿です。患者さんからは「もうこんな時期ね」と声をかけられます。外来の待ち時間、患者さんに一時の心のなごみを感じて頂く癒しの役割を果していただいているお雛さまです。

サービス向上委員会委員長　倉岡 圭子

多摩

AAA（動物介在活動）を始めました

大学病院で勤務犬ミカが導入され、患者さんに対し AAT（動物介在療法）の治療効果があると聞いていました。当院でも動物を通して患者さんを癒すことができないかと考え、プロジェクトチームを立ち上げ、平成 28 年 1 月から AAA の活動を開始しました。PR 犬とのふれあいでは患者さんはもちろんですが、職員の癒しにもつながり毎回良い笑顔が見られます。今後も患者さんや職員の更なる癒しを求めて継続していく予定です。

3東病棟　看護師長　小泉 恵子

小児科看護ケア　総合周産期母子医療センター　大学病院

安心・安全出産、新しい家族として支援

川崎市は多くの新しい命の息吹に満ちあふれた大都市です。平成22年総合周産期母子医療センターとして開設しました。川崎市唯一の基幹病院として現在では年間350～400名の新生児集中治療室への入院があり、あらゆる新生児患者を受け入れ高度な医療を提供しています。すべての診療科がそろっている大学病院であるメリットをいかし、最適な診療科のコラボレーションによって赤ちゃんとお母様にとって安心かつ安全に出産という一大イベントを支えています。医療としてのサービスだけではなく、女性の親となるべき身体と心の変化と、子が生まれ、子として成長していく発育発達の支援も重要な役割です。そうした役割を医師・助産師・看護師だけはなく、周産期臨床心理士、ソーシャルワーカーなど多職種で連携し私たちの理念である「いのちを守り、愛をささえる高度の周産期医療を提供」することが私たちの使命であり喜びであると考えております。

5南病棟　看護師長　熊木孝代

患者さんの退院後を見据えた　東横病院

多職種カンファレンス

当院は、すべての患者さんの入院時から患者さんの退院後の生活を見据えてカンファレンスを実施しています。まず、退院支援プロセスシートを活用し、入院して3日以内に、看護師が中心となって退院支援に関わる必要があるか否かのスクリーニングを行います。データーベース聴取時には入院前の生活状況や患者さん自身の病気・障害に対しての想いを確認します。そして、退院支援が必要と判断した場合、多職種カンファレンスを実施します。診療科毎に週1回、病棟看護師が中心となり、医師やソーシャルワーカー、薬剤師、リハビリ士、栄養士が患者さんにとって最良の方法を考えます。その中で私たち看護師は、患者さんの想いと医療チームの考えを繋ぎ、調整するという大切な役割を担っています。具体的には患者の自宅や部屋の構造までを考え、どのような方法で自立へ向けた支援が必要なのか、どのような社会資源を利用できるのかを患者さんやご家族と一緒に考え介入します。「入院から退院後の生活を見据えた看護」が私たちのモットーです。

3階病棟　看護師長　中野 亜美

マンガでGO!

いろいろな医療現場にチャレンジ!

高度先進医療を掲げる大学病院、機能特化した医療提供する東横病院、地域中核病院を担う西部病院、そして市民病院として地域に密着した医療連携を図る多摩病院。聖マリアンナ医科大学では4附属病院1施設（ブレスト&イメージングセンター）が連携し、医療を提供しています。

附属病院間では異動やブラッシュアップ研修を実施し、知識、経験を通してスキルアップをサポート。臨床現場でひとり一人の輝きを支えます。

小児科看護ケア　西部病院

より質の高い看護を提供するために……

外来と病棟の一元化管理はじめました!

当院のこどもセンターでは、今年の1月から外来と病棟との一元化管理を開始しました。一元化管理とは、入院前の外来看護から入院中の看護を一貫して同じ部門の看護師が担うことを言います。一元化管理を導入することにより、地域医療機関と病院間での継続看護が実践しやすくなると考えます。また、患者・家族と医療者が顔の見える関係を築くことで、安心して子育てのできる環境を提供でき、地域中核病院としての信頼も得やすくなります。私達には小児を専門とする看護師として、常に最新の知識と技術を学び続けていく責任と義務があります。外来看護と病棟での看護を同時に学んでいくことにより、小児の成長発達や家族及び社会的背景、そこに予測されるリスクなどを踏まえ、より深みのあるアセスメントと判断をつけながら個別性のある看護を展開していきます。そこでの質の高い看護実践が、患者である子ども達を地域全体で守り育てることに繋がると考えています。

こどもセンター 看護師長　高塚 美紀

スムーズな入院受け入れ、余裕をもった業務遂行　多摩病院

病棟看護師のお助け隊▶▶▶入院支援看護師

当院のここ数年の入院状況は、予定入院より即日入院が多くなっていました。即日（緊急）入院が多いということは、計画していた1日の業務を変更することになり、業務量・超過勤務時間の増加、インシデント・アクシデントのリスクを高めます。一方、即日入院が必要な患者さんにとっては、入院決定後、速やかに入院できる環境が提供されれば安心・安楽につながります。そこで、病棟看護師の業務負担軽減と入院を必要とする患者さんが速やかに入院できることを目的に、平成28年4月から育児休暇から復帰した中堅看護師3名に入院支援看護師の役割を担ってもらい、入院対応支援業務を開始しました。現在では、1か月の予定入院件数の4～5割、即日（緊急）入院件数の3割の対応ができています。入院業務の85％を入院支援看護師が請け負うことで、病棟看護師が心に余裕をもって日々の業務に取り組み、さらに即日（緊急）入院患者さんの受け入れも早く対応できるようになりました。これからも病棟看護師のお助け隊、そして入院患者さんのお助け隊として頑張りたいと思います。

外来看護師長　圓 直美

病棟看護師お助け隊▶
（入院支援看護師）

▲入院対応支援プロジェクトメンバー

神奈川県の医療系大学ではじめての「くるみん」認定を受けました!

子育て支援から介護休暇まで各年代に合わせた支援体制を整えています。

当法人では、5年間で6名を超える男性職員が育児休業を取得した等の実績が認められ、平成28年5月に従業員の子育て支援に積極的に取り組んでいる企業として神奈川県内の医療系大学ではじめて認定を受け「くるみん」を取得することができました。今後も聖マリアンナ医科大学は子育て支援に積極的に取り組んでまいります。

掲示板

2017年度 4病院採用試験会場

[会　　場] 聖マリアンナ医科大学　教育棟
[時　　間] 10:00～12:00
[問い合わせ] 044-977-9316（人事課直通）

※下記日程以外でも個別対応します。
その際は、人事課までご相談ください。

2017年:3月11日(土)／4月8日(土)・22日(土)
5月13日(土)・27日(土)／6月10日(土)・24日(土)
7月8日(土)・22日(土)／8月12日(土)・26日(土)
9月9日(土)・30日(土)／10月28日(土)
11月11日(土)／12月9日(土)
2018年:1月27日(土)／2月24日(土)／3月10日(土)

2017年度 現地採用試験会場

[時　　間] 13:00～16:00
[問い合わせ] 044-977-9316（人事課直通）
※病院説明のみの対応もします。希望される方は、10日前までに人事課へご相談ください。

札　幌	北農健保会館▶8月5日(土)
弘　前	ホテルニューキャッスル▶9月16日(土)
八　戸	八戸市公会堂▶9月2日(土)
盛　岡	アイーナ▶7月15日(土)
仙　台	仙台ガーデンパレス▶6月24日(土)／9月30日(土)
高　知	高知城ホール▶9月16日(土)
福　岡	都久志会館▶6月17日(土)／7月29日(土)
宮　崎	KITENビル コンベンションホール▶10月7日(土)
鹿児島	川内文化ホール▶9月30日(土)
沖　縄	おもと会 沖縄看護専門学校▶8月26日(土)

聖マリアンナ医科大学 4施設 合同就職説明会

■ 6月3日(土) 11:00～14:00
■10月7日(土) 11:00～14:00
■ 平成30年 1月20日(土) 11:00～14:00

川崎市立多摩病院にて説明会を行います

募集職種は看護師、助産師、看護助手（夜間助手も可）、病棟クラークになります。
興味がある方は、ぜひぜひお越しくださいませ。

携帯ホームページをご参照ください。 http://mobile.marianna-u.ac.jp

インターンシップ

聖マリアンナ医科大学へ就職を考えている方、自身のキャリアを急性期からスタートしたい方、ぜひインターンシップにご参加ください!
みなさんの参加をお待ちしております。

■ 対象者：本学へ就職を考えている方
※（H30年・H31年 3月卒業見込みの看護学生、助産学生）
■ 補　助：交通費支給（片道）、看護師寮宿泊（無料／前泊）
※（交通費＝病院に関わらず法人で1回のみの支給）
※（宿　泊＝来院が18時以降になる場合は、ご遠慮願います）
■ その他：前日に他1病院の施設見学も可能です
インターンシップ後に採用試験の受験も対応します

右記『インターンシップ申し込み』QRコードより申し込みください。▶

発行：聖マリアンナ医科大学
ナースサポートセンター

聖マリアンナ医科大学病院
〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
TEL 044-977-8111（代表）
http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/

聖マリアンナ医科大学東横病院
〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町3-435
TEL 044-722-2121（代表）
http://www.marianna-u.ac.jp/toyoko/

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町1197-1
TEL 045-366-1111（代表）
http://seibu-kangobu.jp/

川崎市立多摩病院（指定管理者 聖マリアンナ医科大学）
〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原1-30-37
TEL 044-933-8111（代表）
http://www.marianna-u.ac.jp/tama/